

緩やかな持ち直しの動きが続くも、一部に停滞感。

生産活動は一進一退の動きが続く。大型小売店の総販売額（7月全店ベース）は2カ月連続で前年を下回り、乗用車の販売台数（8月軽自動車を含む）は11カ月連続で前年を上回るも増勢は鈍化するなど、個人消費はやや足踏み状態。新設住宅着工戸数（7月）は前年比2カ月連続で減少。公共工事（7月保証対象請負総額）は3カ月連続で前年を上回った。有効求人倍率（7月:0.72倍）は緩やかな改善を続けている。企業倒産件数（8月）は38カ月連続1ケタ台で推移。

引き続き緩やかな持ち直しの動きが続いているものの、乗用車販売台数の増勢鈍化や、大型小売店総販売額及び新設住宅着工戸数が2カ月連続で前年割れするなど、一部にはやや停滞感がみられる。

（黒木）